

交第4号議案

平成19年度横浜市自動車事業会計補正予算(第1号)の概要について

1 補正理由及び補正額

(1)補正理由

子会社へのバス運行委託内容の変更等に伴う人件費・経費の補正

(2)補正額

(単位:千円)

区 分		既決予算額 A	補正予算額 B	計 A+B
自	動 車 事 業 費	22,924,527	△ 112,075	22,812,452
	営 業 費 用	21,883,363	△ 112,075	21,771,288
	う ち 人 件 費	15,094,456	598,160	15,692,616
	うち経費(子会社委託料)	959,708	△ 710,235	249,473

2 補正の概要

(1)運行委託変更の概要(△710,235千円)

当初予算では、子会社が交通局公募嘱託員全員(376人)を対象に乗務員として新規採用し、当局がバス運行を委託することとしていました。しかし、安全運行の観点からこの方式を見直し、子会社の乗務員の一部に交通局正規職員も退職派遣することとしました(79人)。また、委託開始時期については、当初予算では12月を予定していましたが、委託内容の変更により2月から委託することとしました。

これら、委託期間や委託人員構成の変更などによって、委託料が約7億1,000万円不用となりますので、予算の減額を行います。

<当初・新計画比較>

【主な変更点】		○人数
○委託期間	4か月→2か月	退職派遣(交通局正規職員)
○人件費相当分(賞与分含む)		事務等職員 28人→29人
退職派遣		乗務員 0人→79人
(交通局正規職員)	6.375月→2月	子会社社員(新規採用)
子会社社員		376人→186人
(新規採用)	6月→2月	

(2) 人件費の増額(598,160千円)

バス運行委託の変更により委託期間が短くなったため、当局で執行する人件費が増加します(約3億1,600万円)。

また、18年度に実施した早期退職制度について、予定人員の80人に対して実績は64人でした。その差である16人分の人件費については、年度末に実施したことから、当初予算に計上することができませんでした。

これらの人件費の補正と年度末までの執行を見込み、人件費の増額補正を行います。

交第4議案

平成19年度横浜市自動車事業会計補正予算(第1号)概要表

(単位:千円)

区 分		既 決 予 算 額	補 正 予 算 額	計
收 益 的 支 出	乗 車 料 収 入	21,083,326		21,083,326
	収 入 廣 告 料 収 入	248,052		248,052
	一 般 会 計 補 助 金	393,771		393,771
	入 そ の 他 収 入	837,754		837,754
	計	22,562,903	0	22,562,903
支 出	人 件 費	15,094,456	598,160	15,692,616
	支 経 費 等	5,480,158	△ 710,235	4,769,923
	減 価 償 却 費 等	1,892,749		1,892,749
	出 支 払 利 息 等	95,064		95,064
	特 別 損 失	362,100		362,100
計	22,924,527	△ 112,075	22,812,452	
収 益 的 収 支 差 引		△ 361,624	112,075	△ 249,549
資 本 的 収 入	企 業 債	2,110,000		2,110,000
	収 入 国 庫 補 助 金	92,250		92,250
	県 補 助 金	14,261		14,261
	一 般 会 計 補 助 金	150,000		150,000
	入 そ の 他 収 入	22,000		22,000
計	2,388,511	0	2,388,511	
支 出	支 建 設 改 良 費 等	2,485,050		2,485,050
	企 業 債 償 還 金	2,151,368		2,151,368
	計	4,636,418	0	4,636,418
資 本 的 収 支 差 引		△ 2,247,907	0	△ 2,247,907